

DIGITAL
TRANSFORMATION

DX

DX

DX

DX

DX

次世代DXビジネスリーダー養成講座

DIGITAL
TRANSFORMATION

ADIGITINNE FOREE BUSINESS MANAGEMENT THE ACPLATING TRAINING
For Adaptable BUSINESSINEL Digital Agthrough Digital Transformation

1600 x 900

企業が求める戦略的な人材育成とは何か？

企業経営の安定を図るためには、企業が従業員の長期的な活躍を見据えて、計画的かつ積極的に人材育成を行うことが重要です。

このように人材育成に取り組むことで、従業員の職業能力が向上し、生産性や労働条件が改善され、企業の経営が安定し、企業イメージの向上に寄与します。その結果、就職希望者の増加という好循環を生み出すのです。

では、企業はどのような人材を育成するべきなのでしょう？

それは、企業の競争力を高めるための人材です。

デジタル技術とデータ活用が進む現代、イノベーションが進行し、グローバル競争力が不可欠となっていますが、多くの日本企業はDXの対応に遅れをとっていると見られています。

そこで経済産業省は、DXに関する基本的な知識やスキル・マインドを備えた人材の育成を目的に、「デジタルスキル標準」を策定しました。

デジタルスキル標準の改訂〈概要〉（令和5年8月）

- 急速に普及する生成AIは、各企業におけるDXの進展を加速させると考えられ、企業の競争力を向上させる可能性がある。あわせて、ビジネスパーソンに求められるデジタルスキルも変化し、より重要になる部分があると想定される。
- その状況に対応するため、昨年末に策定したデジタルスキル標準（DXリテラシー標準）に関する必要な改訂を実施。

標準策定のねらい

✓ 「DXを自分事ととらえ、変革に向けて行動できるようになる」という位置づけは不変

Why

(DXの背景)

【考え方】

- ✓ 産官学全体で生成AIを利用した取り組みが進んでおり、**社会環境へ影響を与える可能性**がある

改訂箇所

- 社会の変化

What

(DXで活用されるデータ・技術)

【考え方】

- ✓ **生成AIは、ビジネスの場で急速に普及・利用**されている
- ✓ また、デジタル技術・サービスの進化に伴い、活用されるデータの**重要性がさらに増している**

改訂箇所

- データを扱う（データ入力・整備等）
- データによって判断する（データの信頼性等）
- AI（生成AIの技術動向、倫理等）

How

(データ・技術の利活用)

【考え方】

- ✓ 生成AIは、ツール等の**基礎知識や指示（プロンプト）の手法**を用いて業務の様々な場面で利用できる
- ✓ **情報漏洩や法規制、利用規約等に正しく対処**しながら利用することが求められる

改訂箇所

- データ・デジタル技術の活用事例（**生成AIの活用事例**）
- ツール利用（**生成AIツール、指示（プロンプト）の手法**）
- モラル（**データ流出の危険性等**）、コンプライアンス（**利用規約等**）

マインド・スタンス

【考え方】

- ✓ 他項目と比べてより普遍的な要素を定義しているため、その**本質は変わらず、生成AI利用においても重要**となる

改訂箇所

- 生成AI利用において求められるマインド・スタンスの補記
 - 生成AIを「問いを立てる」「仮説を立てる・検証する」等のビジネスパーソンとしてのスキルと掛け合わせることで、生産性向上やビジネス変革へ適切に利用しようとしている
 - 生成AI利用において、期待しない結果が出力されることや、著作権等の権利侵害・情報漏洩、倫理的な問題等に注意することが必要であることを理解している
 - 生成AIの登場・普及による生活やビジネスへの影響や近い将来の身近な変化にアンテナを張りながら、変化をいわず学び続けている
- **事実に基づく判断（生成AIの出力等）**

全てのビジネスパーソン（経営層含む）

<DXリテラシー標準>

全てのビジネスパーソンが身につけるべき
能力・スキルを定義

DXを推進する人材

<DX推進スキル標準>

DXを推進する人材タイプの役割や
習得すべきスキルを定義

（ビジネスアーキテクト／デザイナー／
データサイエンティスト／ソフトウェアエンジニア／
サイバーセキュリティ）

標準策定のねらい

働き手一人ひとりが「DXリテラシー」を身につけることで、DXを自分事ととらえ、変革に向けて行動できるようになる

Why

DXの背景

- ✓ DXの重要性を理解するために必要な、社会、顧客・ユーザー、競争環境の変化に関する知識を定義

→DXリテラシーとして身に付けるべき知識の学習の指針とする

What

DXで活用される データ・技術

- ✓ ビジネスの場で活用されているデータやデジタル技術に関する知識を定義

→DXリテラシーとして身に付けるべき知識の学習の指針とする

How

データ・技術の活用

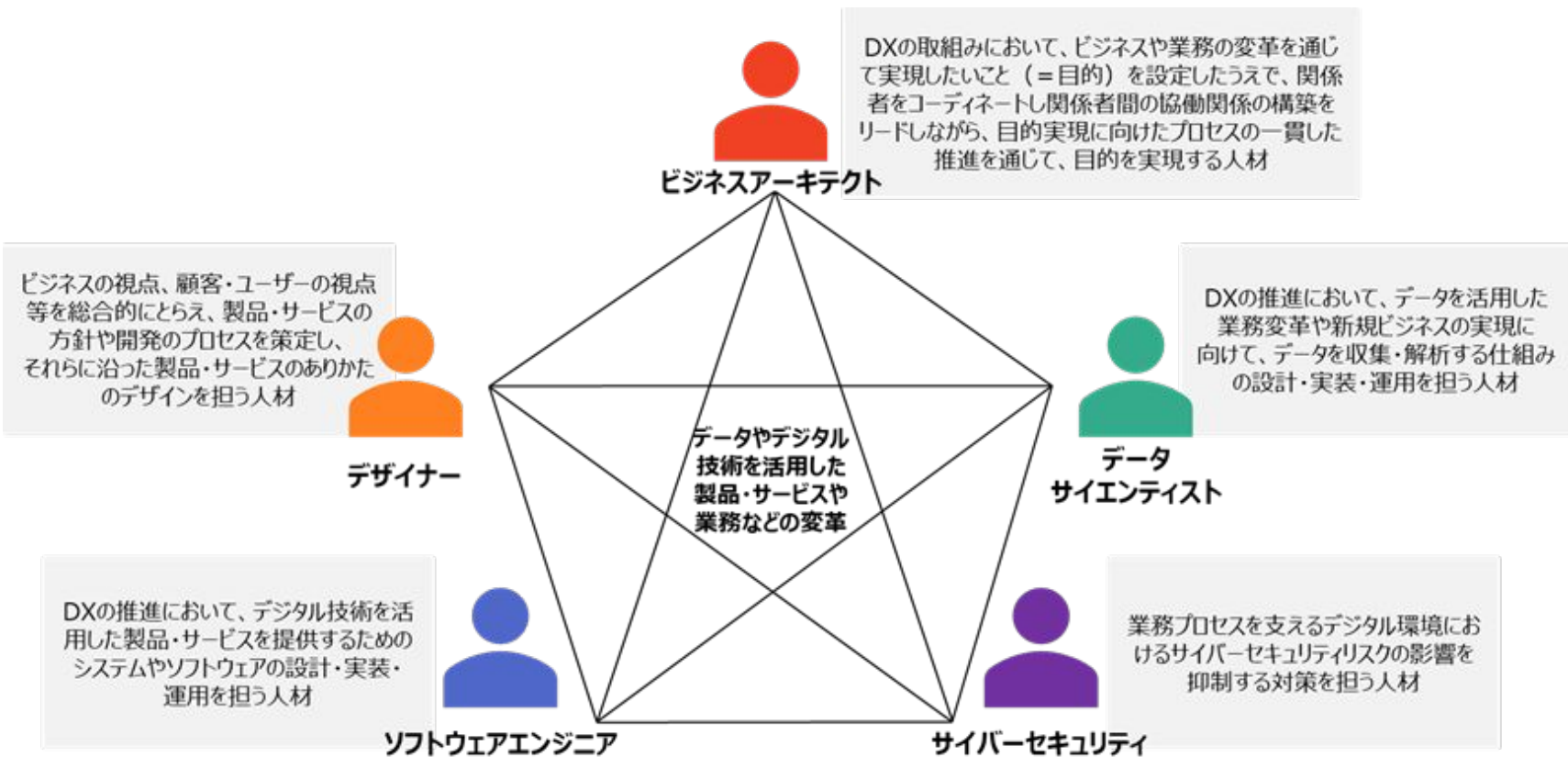
- ✓ ビジネスの場でデータやデジタル技術を活用する方法や留意点に関する知識を定義

→DXリテラシーとして身に付けるべき知識の学習の指針とする

マインド・スタンス

- ✓ 社会変化の中で新たな価値を生み出すために必要な意識・姿勢・行動を定義

→個人が自身の行動を振り返るための指針かつ、組織・企業がDX推進や持続的成長を実現するために、構成員に求める意識・姿勢・行動を検討する指針とする



この背景をもとに、各業種や部門で働く従業員がビジネスアーキテクトとしてのスキルや知識を習得できるよう、この講座を企業の計画的な人材育成プログラムとして提供します。

企業経営の安定には、繰り返しになりますが、積極的な人材育成が重要です。その結果、ビジネス環境の変化に応じて、デジタル技術を活用した業務効率化、顧客や社会ニーズに基づいた製品・サービスやビジネスモデルの革新が進み、業務や組織、プロセス、企業文化を進化させて競争力を高める必要があります。

そのため、IT系研修を受けさせるだけの受動的な育成ではなく、次の点を大切にしましょう

- 適任の推進者を社内から選任する
- 推進者が従業員への相談・指導を行える
- 方針や計画を事前に立てる
- 計画を従業員と適切に共有する
- 内容が目的に即している
- 計画通りに実施されているか確認する
- 結果を報告し、共有する

こうした積極的な人材育成を行いましょう。

本講座の特徴

目標設定と推進力

この講座は、VOC分析を通じて顧客満足度向上やサービス改善といった明確な目標を設定し、それを実現するために組織全体を導く力を育む内容です。プログラムの狙いは、単なる技術習得ではなく、従業員が顧客の声を基に業務プロセスを変革し、改善を実施する力を養うことにあります。

関係者の協働推進

このプログラムでは、顧客や現場の声を収集し、それを基に意思決定を行い、関係者間の協働を促進します。口コミやSNSのフィードバックを解析し、全員参加で現場改善を進めるプロセスは、ビジネスアーキテクトが果たす「組織目標達成に向けたリーダーシップ」と言えます。

データを基にした推進

データの分析や技術的な構築だけでなく、それらを用いてビジネス課題を解決するプロセス推進に力点を置いています。ビジネスアーキテクトは、顧客の声を活用したデータをもとに、社内の調整役として戦略を主導します。

意思決定力の促進

本プログラムは、VOC分析を基にしたデータを用いて、従業員が現場で迅速かつ正確に意思決定できるスキルを身につけることを目的としています。ビジネスアーキテクトが組織変革を進め、成果を生み出すプロセスです。

学習管理が行えるLMS環境の提供

本講座ではGoogle社のLMS機能により受講者の学習管理ができる環境をご用意します。

Step1:当社が御社専用のLMS環境を構築します

Step2:受講者に無料のGmailなどGoogleベースでのメールアドレスで受講登録して頂きます

Step3:受講者は契約期間中いつでも全てのeラーニング動画を視聴し学習することができます

Step4:受講者は学習が完了したらLMS上から完了報告をします

Step5:実施責任者は全員の受講状況を確認することができます

The screenshot displays an LMS interface with a sidebar on the left and a main content area. The sidebar contains a search bar with the text 'すべての生徒' (All students) and a dropdown menu labeled 'ステータスで並べ替...' (Sort by status...). Below the search bar are three filter options, each with a checkbox: '提出済み' (Submitted), a circular icon with the letter 'r', and a redacted name. The main content area shows a redacted name and the text '提出済み (履歴を表示)' (Submitted (Show history)). A white popup window is overlaid on the main content area, titled 'さんの履歴' (History of [redacted]). The popup contains a table with one row: '提出済み' (Submitted) in the first column, '10月10日 15:25' (October 10, 2023 15:25) in the second column, and a redacted name in the third column. A blue button labeled '閉じる' (Close) is located at the bottom right of the popup.

ステータス	日時	名前
提出済み	10月10日 15:25	[redacted]

定額コースに含まれる動画は追加コンテンツ含め見放題

DXの基礎知識

デジタルトランスフォーメーション(DX)の基本概念とその重要性について学びます。ビジネスアーキテクトがDXの推進役として果たすべき役割を明確にすることで、社内業務の高度化・効率化に向けた基盤を構築します。これにより、ビジネスアーキテクトはDXの本質を理解し、企業全体のデジタル化を効果的に推進するための基礎知識を得ることができます。

DXの定義と目的(標準学習時間:11分7秒)

DXの必要性和ビジネスへの影響(標準学習時間:10分27秒)

成功事例と失敗事例の詳細分析(標準学習時間:9分56秒)

DXの歴史と未来予測(標準学習時間:9分11秒)

DXの主要技術とトレンド(標準学習時間:10分42秒)

DXの倫理と社会的責任(標準学習時間:8分39秒)

確認テスト20問(標準学習時間:10分0秒)※オプション

定額コースに含まれる動画は追加コンテンツ含め見放題

データ活用と分析

データの収集、整理、分析の手法を学びます。これにより、業務の効率化や戦略的な意思決定を支援するデータ駆動型のアプローチを取り入れ、企業全体のパフォーマンスを向上させる能力を身につけます。データを効果的に活用することで、業務の無駄を削減し、プロセスの最適化を実現します。

データの収集方法とツール(標準学習時間:10分53秒)

データベースの設計と管理(標準学習時間:11分1秒)

データ分析ツールの詳細紹介(Excel、Tableau、PowerBI)(標準学習時間:10分29秒)

データの視覚化と報告方法(標準学習時間:10分36秒)

ビッグデータの応用と事例研究(標準学習時間:10分59秒)

データガバナンスとデータ品質管理(標準学習時間:13分34秒)

データの倫理、プライバシー、法的側面(標準学習時間:12分46秒)

確認テスト20問(標準学習時間:10分0秒)※オプション

AIとVOC分析の基礎知識

AI技術を活用して顧客の声 (Voice of Customer: VOC) を会社の全従業員で効率的に収集・分析し、顧客満足度の向上やサービス改善に役立てるための基礎知識を習得できます。具体的には、VOCデータ(レビューやフィードバック、SNS投稿など)をAIを使って自動的に処理・分析し、顧客ニーズや問題点を明確化する方法を学び、これを基に製品やサービスの改善を行うためのスキルを身につけ、データに基づいた意思決定を支援するビジネスアーキテクトを目指します。

- VOC分析の役割と重要性
- VOC分析の利用例から活用方法を学ぶ
- 顧客体験改善のためのAIの活用

(標準学習時間:23分07秒)

音声認識技術とテキストマイニング

音声データをリアルタイムで自動的にテキスト化する音声認識技術により、会議や顧客対応などの記録を効率的にデジタル化できます。さらに、テキストマイニングを組み合わせることで、テキスト化されたデータから重要な情報やトレンド、感情分析を行い、パターンを抽出して意思決定や業務改善に役立てます。この連携により、膨大なデータの中から必要なインサイトを迅速に得ることが可能です。

- 音声認識技術の概要
- 音声データの収集方法と事例
- テキストマイニングの基礎
- 音声からテキストへの変換

(標準学習時間: 18分21秒)

自然言語処理(NLP)によるテキスト分析

自然言語処理(NLP)によるテキスト分析は、人間の言語をコンピュータが理解・処理し、テキストデータから意味や感情、トピックなどを抽出・分析する技術です。これにより、レビューやアンケート、SNS投稿などの大量のテキストデータから有用な情報を自動的に取得し、ビジネスや研究のためにデータを整理・活用できます。NLPを用いることで、人手による作業では困難なデータ分析を効率化し、迅速な意思決定やマーケティング戦略の立案が可能になります。

- NLPの基本概念
- キーワード抽出とトピックモデリング
- 顧客の意図を理解するためのテキスト解析
- 顧客のニーズと問題点の抽出

(標準学習時間:22分36秒)

感情分析とVOC分析における活用法

感情分析は、テキストデータからその背後にある感情（ポジティブ、ネガティブ、ニュートラルなど）を自動的に識別・分類する技術です。レビューやSNS投稿、顧客フィードバックなどのデータを分析することで、顧客やユーザーの感情を把握し、製品改善や顧客対応、マーケティング戦略の立案に役立てます。感情分析を活用することで、企業は顧客の潜在的な不満を早期に察知し、問題の解決やブランドイメージの向上を図ることができます。

- 感情分析の理論と技術
- テキストデータからの感情分類
- 感情分析のビジネス活用

(標準学習時間:18分43秒)

職務現場での口コミやSNSのVOC分析

職務現場での口コミやSNSを活用したVOC (Voice of Customer) 分析は、顧客や従業員の声を収集・解析し、現場の改善や組織全体のパフォーマンス向上に役立てるための、全従業員があらゆる場面で職務に役立つ知識や技能が学べます。口コミやSNS上で顧客が発信するフィードバックや意見、感情をAI技術で分析することで、具体的な問題点やトレンドを把握し、迅速かつ高度な顧客対応や現場レベルでの意思決定に繋げられるビジネスアーキテクトを育成できます。

- ソーシャルメディアと口コミの重要性
- SNSのフィードバック収集と分析ツールの活用
- 口コミサイトの分析手法
- 感情分析とテキストマイニングを活用したSNS・口コミ分析

(標準学習時間: 42分07秒)

VOC分析でのデータの可視化とレポートニング

VOC分析におけるデータの可視化とレポートニングは、収集された顧客の声（レビュー、アンケート、SNS投稿など）を効果的に理解し、意思決定に活かすための重要なステップです。可視化では、グラフやチャートを用いて、顧客の感情やトレンド、頻出ワード、セグメント別の評価などを視覚的に表現します。これにより、パターンや傾向を直感的に把握でき、迅速な分析が可能です。レポートニングでは、可視化されたデータをもとに、要点や改善点を整理し、具体的なアクションプランや戦略提案をまとめます。このプロセスにより、経営層や現場担当者に対して、データに基づいた意思決定を支援することができます。

- データ可視化の基本ツール
- 可視化技術を用いた分析結果の伝達
- レポート作成と意思決定への応用

(標準学習時間:22分15秒)

VOC分析におけるセキュリティとプライバシー保護の知識

VOCデータには個人情報やセンシティブな情報が含まれる可能性があり、適切な管理が求められます。まず、データの収集や処理時には、個人情報保護法やGDPRなどの規制に準拠し、顧客の同意を得た上で行う必要があります。また、データは暗号化やアクセス制限によって保護し、不正アクセスや漏洩を防止します。さらに、データの匿名化や不要データの削除を行い、分析の目的に必要な最小限の情報のみを扱うことが推奨されます。こうしたセキュリティとプライバシー保護の対策により、顧客データを安全かつ倫理的に使用することができます。

- 顧客データのプライバシー保護に関する法的要件
- データのセキュリティ対策
- 個人情報保護法およびGDPRに準拠したデータ管理

(標準学習時間:21分18秒)

定額コース料金	確認テスト無し		確認テストあり	
	毎月払い	一括払い	毎月払い	一括払い
動画視聴	契約期間中は見放題		契約期間中は見放題	
確認テスト	無し		有り	
LMS環境	当社にて構築		当社にて構築	
修了証	当社にて発行		当社にて発行	
3ヶ月コース (1アカウント)	月額45,000円 (税込49,500円)	約11%お得 1人月額40,405円 (税込44,445円)	月額54,000円 (税込59,400円)	約15%お得 1人月額45,455円 (税込50,001円)
6ヶ月コース (1アカウント)	月額36,000円 (税込39,600円)	約11%お得 1人月額32,234円 (税込35,556円)	月額45,000円 (税込49,500円)	約15%お得 1人月額37,880円 (税込41,668円)
12ヶ月コース (1アカウント)	月額27,000円 (税込29,700円)	約11%お得 1人月額24,243円 (税込26,667円)	月額36,000円 (税込39,600円)	約15%お得 1人月額30,304円 (税込33,334円)

Q: 定額コースは解約できますか？

A: 毎月払いの場合は事前に申し出る事で可能ですが一括払いの場合は不可能です。

Q: 毎月払いの場合の月単位はどのように計算されますか？

A: 視聴開始日は毎月1日とするため毎月末日が1ヶ月の終わりとなります。

Q: 毎月払いの場合で解約した場合は日割り計算されますか？

A: いいえ、されません。月単位となります。

Q: 一括払いの場合は返金がありますか？

A: いいえ、ありません。

Q: 支払い時期を教えてください。

A: 毎月払いの場合は前月末日までにお支払ください。一括払いの場合は視聴開始日までにお支払ください。

Q: 一括払いの場合メリットはなんですか？

A: 先払いしていただく事で月額換算した場合の金額がお得になります。

Q:料金は1人につき月額でかかりますが？

A:はい、かかります。ただし、人数のカウントではなく受講登録するメールアドレス単位で一つのアカウントとみなします。企業様は必要なアカウント数を指定し申し込みしてください。

Q:アカウントを共有することは出来ますか？

A:いいえ、1人につき対応する1アカウントでのご利用をお願いしており、そのアカウントに対して学習進捗の管理や修了証の発行などを行うことができます。

Q:アカウントを割り当てられた従業員が辞めた場合はどうなりますか？

A:その場合は、その方のメールアドレスを削除申請していただく事で、1アカウント分が復活しますので、そのアカウントを利用して、新たにメールアドレスを登録しなおす事で、別の方が受講をする事ができるようになります。その場合でも、辞めた方の受講履歴データは保存する事が可能です。

Q:アカウント数を途中で変更することは出来ますか？

A:毎月払いの場合は事前に申し出る事で可能ですが一括払いの場合は不可能です。

Q:申し込めるアカウント数に制限はありますか？

A:特にありませんが、リスクリングを望む従業員の総数をお申し込みされるのが良いと思います。

Q:動画の品質は高いですか？

A:動画は、株式上場時に自身の会社のDXを自ら成し遂げた創業者を初め、国内外でいち早くAIやシステムを活用しあらゆる業務の無人化を次々と成功させた経営者などが、制作や監修を行っておりますので、ただDXに関する知識や技能を学習するのではなく、現在の職務に直接的に役立つ専門的な訓練として、これからのあなたのキャリアに大きく貢献する事を目的としています。

Q:動画は見放題ですか？

A:はい、契約期間中はどの動画でも見放題です。期間内にコンテンツが追加された動画も含め全て見放題でいつでもご覧いただけます。

Q:動画はスマートフォンでも見れますか？

A:はい、PCでもスマートフォンでも視聴可能です。ただし、本コースは企業内の従業員の皆様が自身の職務に関する知識や技能を向上させる事を目的としていますので、企業の訓練担当者様が立てた方針や計画などがあれば、それに従って視聴を行うようにしましょう。

Q:従業員の学習管理は出来ますか？

A:はい、Google社のLMS機能を活用して専用のLMS環境を構築いたしますので、どなたがいつどのeラーニング学習が完了したかを一人一人確認することができます。

会社名	有限会社オギノマネージメントコーポレーション
住所	東京都新宿区富久町16-6 西倉LKビル7階
電話番号	03-3351-6671
会社HP	https://omc-reskill.com
主な事業	ライセンス事業 展覧会事業 研修販売事業